

降雪・寒さ突き、409カ所で1600人余が宣伝

14日に行われた近畿いっせい宣伝は、降雪と厳しい寒さの中、409カ所で、14.3%の支部、1609人、256地方議員が参加、1万7279のピラを配布。雪による中止もありましたが、コロナ対策、岸田改憲ノーを訴えました。



●大阪 たつみコータロー前参院議員・大阪選挙区候補は大阪市西区の地下鉄四ツ橋駅前と九条駅前、「命と暮らしを最優先にする政治を」と訴えました（写真）。維新の大阪府・市政が進めるカジノ計画について「国民からお金を巻き上げ、ギャンブル依存症患者を生み出すカジノで経済が成長するはずがありません。ストップさせましょう」と訴えると、通りかかった男性が「がんばって」と声をかけました。

池田市の石橋駅では山元たけし市議に男性が「これまで与党側に投票して来たが、今回初めて共産党に入れた」と言ってくれました。JR茨木駅東口では日曜版宣伝紙17部を配布しました。

●滋賀 草津市のJR西口では、雪が舞う中、藤井三恵子市議、佐藤耕平湖南地区常任委員が訴え。藤井市議は「いつでも、どこでも、希望すればPCR検査が無料で受けられる体制を」、佐藤氏は「参院選で日本共産党は、市民と野党が引き続き力を合わせ新しい政治をつくるために頑張ります」と訴えました。仕事に向かう二人連れの年配女性から「寒いのにご苦労さん」と激励がありました。

●兵庫 阪急六甲駅では、寒さの中、高羽後援会の5人がハンドマイク宣伝とピラ配布。王子動物園を守れと、署名を訴えました。

●各地で他党派とパッシング。参院選で激しいが始まっていることがうかがわれました。



政権交代の足掛かりを

前進座公演観劇会で参院候補ら訴え

大阪、京都、滋賀、奈良の日本共産党後援会は16日、京都市の京都劇場で行われた劇団・前進座新春公演「一万石の恋」を鑑賞。開演前に大門みさし参院議員(比例)、たつみコータロー前参院議員(大阪選挙区)、清水忠史前衆院議員(午前の部＝写真左)、大門氏、たけやまさい京都選挙区候補、穀田恵二衆院議員、井上哲士参院議員(午後の部＝写真右)があいさつ。参院選へ反転攻勢、政権交代の足掛かりを訴えました。

大門さんは、若いころ劇作家になることをめざし、この舞台に立つことが夢だったと笑わせながら、「お芝居のテーマは格差を超えた愛。貧困格差を広げる新自由主義転換。やさしく強い経済に」と訴え。たつみ氏は、森友問題の真相究明を求める訴訟を国が強引に幕引きしたことを批判。「私が国会に戻り決着をつける」と表明。たけやまさんは「文化芸術は平和であってこそ花開く」と憲法9条を守り抜く決意を述べました。

22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 3(2022.1.17)